

## 街路事業の再評価概要書

( ) は、前回評価時

		番 号		
		事業主体	栃 木 県	
事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課
路線・河川名	足利佐野都市計画道路 3・4・3号赤見馬門線外1路線		事業箇所名	佐野市 高萩町 <small>たかはぎちょう</small> 工区
事業区間	佐野市浅沼町 <small>あさぬまちょう</small> ～高萩町 <small>たかはぎちょう</small>		事業延長	1,728m
H29年度事業化		H29年度用地着手		R2年度工事着手
事業期間	(R5年度) H29年度～R10年度	事業 進 捗 状 況	基準年次：【令和5年度末時点】	
[うち用地補償費]	[14.5 (12.0) 億円]		[うち用地補償費]	[10.4 億円] [72%]
全体事業費(税込)	28.0 (21.0) 億円		既投資事業費	15.9 億円 57%
事業概要				
<p>本都市計画道路は、佐野市赤見町を起点とし、佐野市街地を通り、国道50号を経て馬門地区へ至る、都市の骨格を形成する幹線道路である。また、佐野市街地周辺においては、沿道に商業施設や住宅等が建ち並び、地域の経済産業活動及び日常生活を支える重要な路線である。</p> <p>しかしながら、本事業区間については、車線が2車線で整備済みであるものの、その北側は4車線で整備されているため、南進方向では、朝夕の通勤車両や休日の近隣商業施設への来訪者の車両が集中し、渋滞が発生している。加えて、界小学校の通学路であるものの、現況の歩道においては、自転車と歩行者が錯綜している状況にある。</p> <p>このため、本事業により、高萩町交差点等における交差点改良にあわせ、南進方向の2車線化や歩行者と自転車の通行空間を分離することにより、道路ネットワークの強化と安全で円滑な通行空間の確保を図るものである。</p>				
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更 等				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費の増額：21.0億円⇒28.0億円</li> <li>・事業期間の延伸：令和5年度⇒令和10年度</li> </ul>				
事業の投資効果				
1 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
(1) 事業全体 B/C= 1.3		35.4 億円	27.0 億円	
(2) 残事業 B/C= 3.2		35.4 億円	11.0 億円	
2 事業の整備効果等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞緩和による交通の円滑化</li> <li>・自転車の安全で円滑な通行の確保</li> <li>・新防災拠点である佐野市役所へのアクセス強化</li> </ul>		
事業の進捗状況等				
1 事業の進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体事業進捗率 57%</li> <li>うち用地 72%、工事 25%</li> </ul>				
2 今後の事業進捗の見込み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得、工事を推進し、令和10年度を目標に事業完了を図る</li> </ul>				
コスト縮減等				
1 コスト縮減方策				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減を図る</li> <li>・建設発生土の公共工事間流用によりコスト縮減を図る</li> </ul>				
2 代替案立案等の可能性				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・72%の用地を取得見込みであり、一部工事も実施していることから、代替案立案は困難である</li> </ul>				
事業の対応方針(案)		本計画で事業を継続する。		



# 栃木県公共事業再評価 概要書

## 【県土整備部 街路事業】

事業名	街路づくり事業
事業箇所	足利佐野都市計画道路 3・4・3号赤見馬門線外1路線 高萩町工区 佐野市浅沼町～高萩町 L=1,728m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 都市整備課

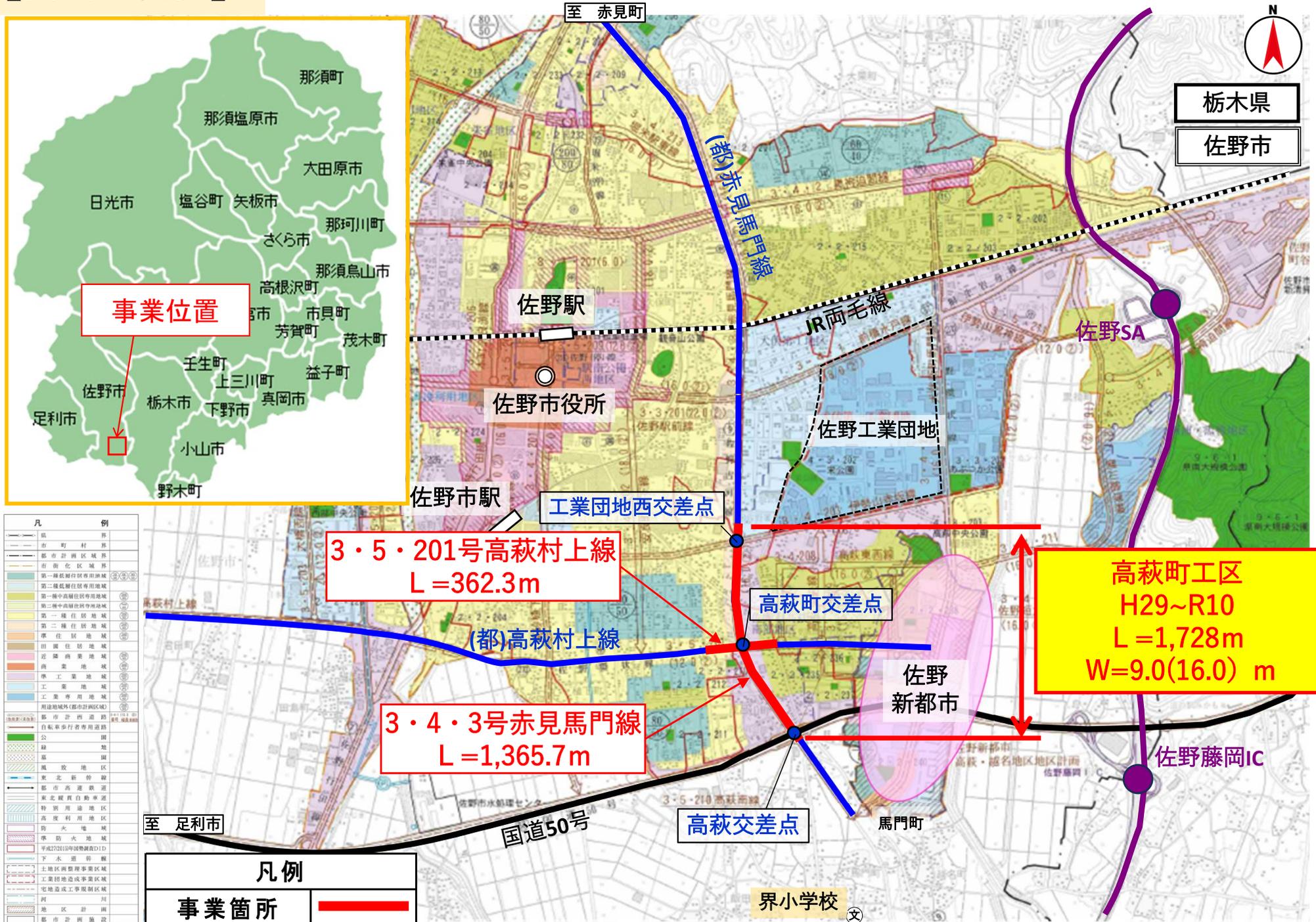
# I 事業の概要

## 【現況】

事業期間 (変更前)	平成29年度～令和10年度 (平成29年度～令和5年度)
事業経過	昭和38年度 都市計画決定 (平成28年度変更) 平成29年度 事業化 平成29年度 用地着手 令和2年度 工事着手
全体事業費 [うち用地補償費]	28.0 (21.0) 億円 [14.5 (12.0) 億円] ※ ( ) は前回計画時
事業延長 [うち供用済延長]	L = 1,728m [L = 0 m]
進捗率	基準年次：【令和5年度末時点】 費用 進捗率 既投資事業費 15.9億円 57% [うち用地補償費 10.4億円 72%]

# I 事業の概要

## 【箇所の概要】



# I 事業の概要

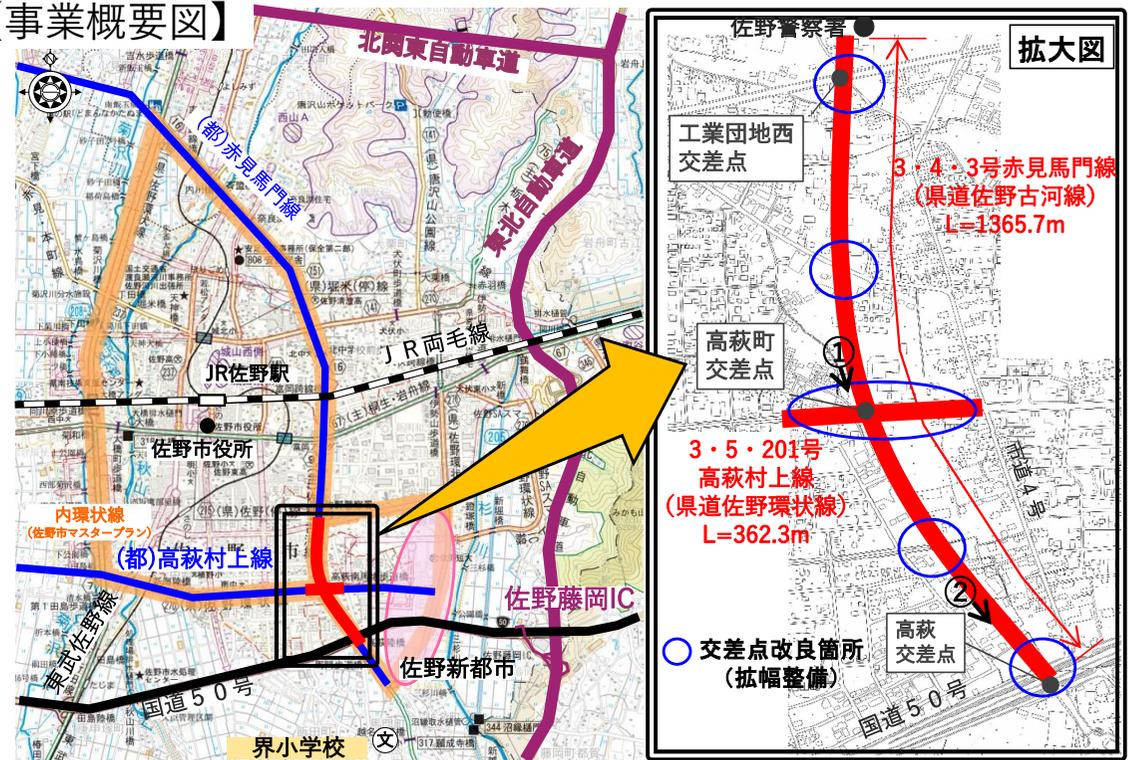
## 【目的】

本事業区間については、車線が2車線で整備済みであるものの、その北側は4車線で整備されているため、南進方向では、朝夕の通勤車両や休日の近隣商業施設への来訪者の車両が集中し、渋滞が発生している。

加えて、界小学校の通学路であるものの、現況の歩道においては、自転車と歩行者が錯綜している状況にある。

このため、本事業により、高萩町交差点等における交差点改良にあわせ、南進方向の2車線化や歩行者と自転車の通行空間を分離することにより、道路ネットワークの強化と安全で円滑な通行空間の確保を図るものである。

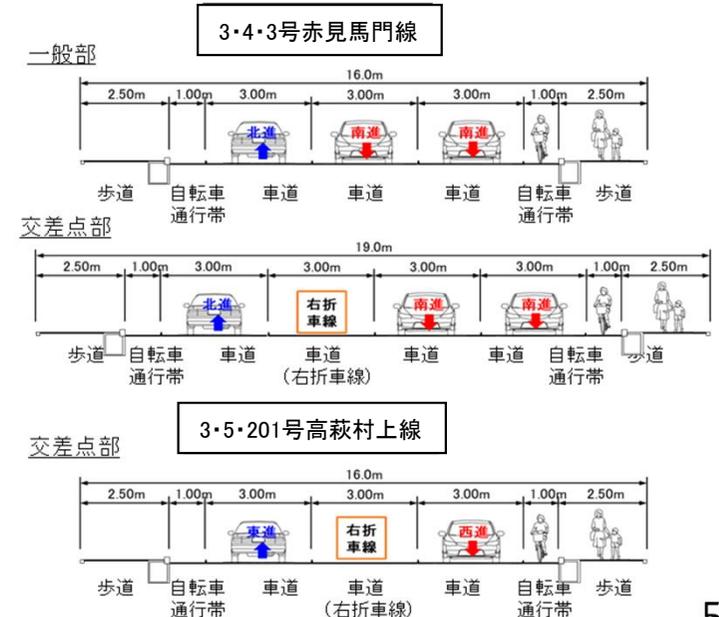
## 【事業概要図】



## 【渋滞状況】



## 【標準横断図】

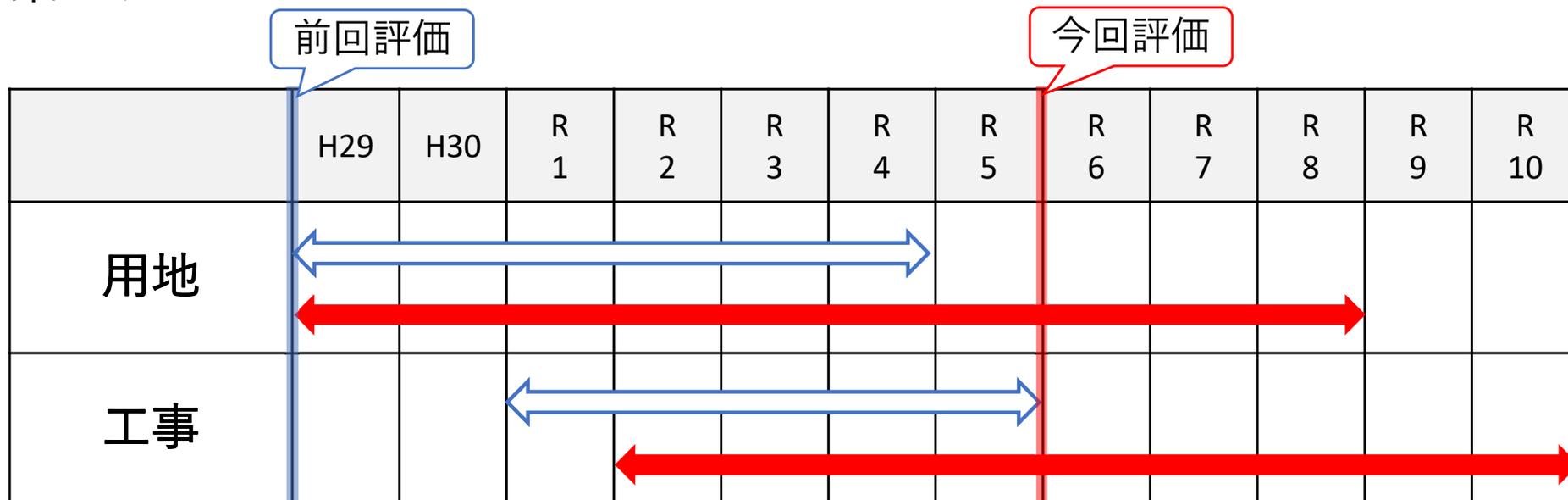


## Ⅱ 事業の評価

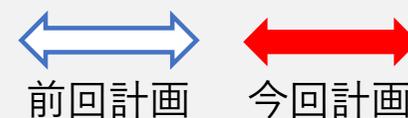
### 【今後の事業進捗の見込み】

- 事業期間の見直し  
令和5年度 ⇒ 令和10年度

#### 事業スケジュール



- 延伸の理由  
用地取得に不測の時間を要した  
国道50号を横断する道路排水施設の施工方法変更による工期増加



- 今後の見通し  
用地取得、工事を推進し、令和10年度を目標に事業完了を図る

## Ⅱ 事業の評価

### 【全体事業費の見直し】

		前回計画 (H28年度)	今回計画
	事業費	21.0億円	⇒ 28.0億円 (+ 7.0億円)
内	工事費	9.0億円	⇒ 13.5億円 (+ 4.5億円)
訳	用地補償費	12.0億円	⇒ 14.5億円 (+ 2.5億円)

#### ■工事費の増額

- ①国道50号を横断する道路排水施設の施工方法変更による増額 + 3.0億円
- ②労務資材単価の高騰等による増額 + 1.5億円

#### ■用地補償費の増額

- ①住宅建築資材等の高騰等による増額 + 2.5億円

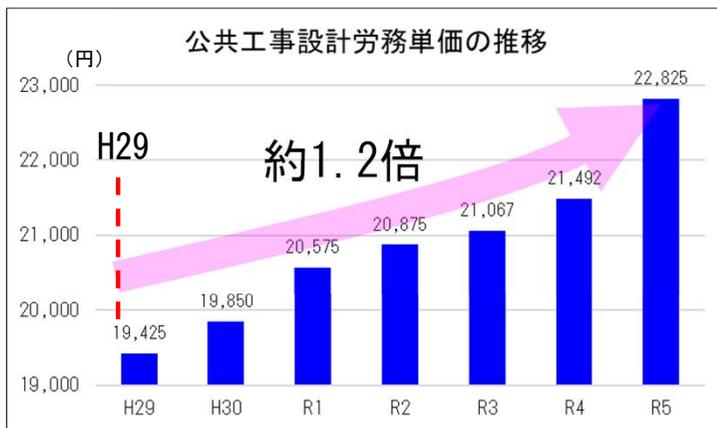
## Ⅱ 事業の評価

### 【全体事業費の見直し】

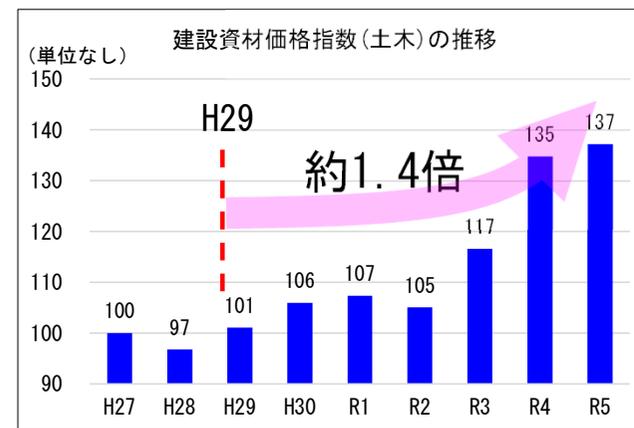
【工事①】 国道50号を横断する道路排水施設の施工方法変更による増額 +3.0億円

- ・ 国道50号との交差点部の道路排水施設の施工にあたり、交差点部を通過する車両等が通行できなくなる時間を最小限にするため施工方法を変更

【工事②】 労務資材単価の高騰等による増額 +1.5億円



※栃木県 公共工事設計労務単価表より  
主要12職種の平均値



※一般財団法人経済調査会ホームページより  
H27を基準(100)とした場合の宇都宮におけるセメント、  
生コンクリート、骨材、瀝青材、普通鋼材の平均値

【用地①】 住宅建築資材の高騰等による増額 +2.5億円



※関東地区用地対策連絡協議会資料より  
木造工事及び鉄骨工事の労務資材単価

## Ⅱ 事業の評価

### 【事業の投資効果】

#### 1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	1.3	35.4億円	27.0億円
(2)残事業	3.2	35.4億円	11.0億円

#### 2 事業の整備効果等

- 渋滞緩和による交通の円滑化
- 自転車と歩行者の安全で円滑な通行の確保
- 新防災拠点である佐野市役所へのアクセス強化

## Ⅱ 事業の評価

### 【事業の進捗状況等】

※令和5年度末時点

#### 1 事業の進捗状況

- 全体事業進捗率 57%
- 用地 72%
- 工事 25%

#### 2 今後の事業進捗の見込み

- 用地取得、工事を推進し、令和10年度を目標に事業完了を図る

赤見馬門線 着手前（高萩町交差点北側）



赤見馬門線（工業団地西交差点南側）



工事完了（歩道）

## Ⅱ 事業の評価

### 【コスト縮減等】

#### 1 コスト縮減方策

- 再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減を図る
- 建設発生土の公共工事間流用によりコスト縮減を図る

#### 2 代替案立案等の可能性

- 72%の用地を取得見込みであり、一部工事も実施していることから、代替案立案は困難である

### 【事業の対応方針（案）】

- 本計画で事業を継続する